

「意欲的に学び、高めあい、地域から信頼され誇りに思える学校」をめざして



布水だより

No. 9 (学校評価)

令和4年10月5日  
布水中学校  
校長 松田英樹

令和4年度「前期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、今年度から発足した学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、後期改善策等についてご助言をいただきました。これら学校評価アンケート結果、ご助言等を後期の教育活動の改善と具体的な取組に活かして参ります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというにあてはまる ③どちらかというにあてはまらない  
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）  
各 符 号 … ◎ {各重点の目標} ・ {学校関係者評価・助言} ☆ {改善策(後期の取組へ)}

### (1) 確かな学力の定着

◎新学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学ぶ喜びと達成感を感じられる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』(①+②)

A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満 R4.7:100% (R3.7:100%) …A

生徒『学校の授業がわかる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:86% (R3.7:85%) …B

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』(①+②)

A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満 R4.7:55% (R3.7:58%) …D

[学校運営協議会より]

- ・家で子どもが親に語りたくなるような楽しい授業、充実した授業を目指して努力を続けてほしい。
- ・夏休みの研究テーマ設定やコンクール応募内容の相談など、保護者が家庭学習に関われる工夫をすれば、家庭内での学習に関する会話が増えるのではないかな。

☆ICTを活用し、個別最適な学習となるよう、積極的に支援していきます。

☆授業で生徒が主体的に学び、学んだ成果や振り返った内容を保護者に返すよう工夫していきます。

### (2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取り組みの目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』(①+②)

A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満 R4.7:90% (R3.7:92%) …A

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:84% (R3.7:83%) …B

生徒『自分は学校の一員だと感じている』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:89% (R3.7:89%) …B

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:79% (R3.7:78%) …C

[学校運営協議会より]

- ・アンケート結果の学年差について、1学期は修学旅行や部活動の大会など主に3年生が中心となっていたのに対し、2学期は大きな行事が多く、部活動も1・2年生中心に移行するため、後期の結果と合わせて分析するとよい。

☆見通しを持たせた活動計画を生徒に提示するようにします。生徒が活躍できるように、成功体験になるように、事前の準備をしっかりと行い、授業が褒める場になるようにしていきます。

☆各種お知らせを使い、生徒の様子を発信していきます。学校公開等で、生徒の活動内容が見られるように、写真や生徒の感想などを掲示します。

### (3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)

A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満 R4.7:64% (R3.7:67%) …C

生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 R4.7:90% (R3.7:92%) …A

[学校運営協議会より]

・部活動方針の①休養日の設定や②平日・休日の活動時間について再確認し、下校指導については暗くなるのが早くなる時期にはもっと強化して行ってほしい。

☆部活動方針と共通実践事項の確認を再度行います。完全下校 15 分前のチャイムで活動を終え、片付けに入っているか顧問が確認します。

☆部活動に対する意欲を維持しつつ、集中して短時間でも効果的な活動を工夫していきます。

### (4)持続可能な学校教育の体制づくり

◎安全安心で学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:93% (R3.7:94%) …A

教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 R4.7:83% (R3.7:77%) …B

教員『時間外勤務時間』(平均時間:分)

A:45h 以下 B:60h 以下 C:70h 以下 D:70h より多い

R4.4:C(69:03)、5:C(64:41)、6:D(70:22)、7:B(47:25) …C

教員『授業や行事等の中で、目的に応じてクロームブック等の情報端末を活用した指導ができた』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R4.7:85% (R3.7:72%) …B

[学校運営協議会より]

・クロームブックを使った授業が増えている。タッチとタイピングどちらも見られるが、習熟度に差があるように感じた。情報端末を活用する中で上達して行ってほしい。今後、小学校でスキルを高めた生徒が上がってくる。地域の人材のさらなる活用を推進していくこと。

☆時間外勤務の多い職員への支援・指導、月予定表等の早期提示による計画的・効率的な業務遂行の促進を継続的に行います。新クラウドシステムの効果的な活用を進めて参ります。

☆今後も、授業に活用できる具体的なアプリケーションや活用方法を共有していきます。また、実践を振り返り、成果の検証を行います。

### ◆[自由記述欄]について

アンケート末の『自由記述欄』に、32件の「ご意見、ご要望、感謝のお言葉、ご報告、等々」をいただきました。ありがとうございました。学校だよりを通して、お答えできないご質問・個別のご要望等もございましたが、引き続き今後のより良い学校作りのための参考とさせていただきます。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 黒川)

メール [fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)